

「かぜ診療 ブラッシュアップコース」 指導者講習会

日本では、抗菌薬は外来での使用が9割以上を占めます。AMR対策を効果的に進めるには、外来診療で抗菌薬の適正使用を推進することが重要です。AMR臨床リファレンスセンターでは、最もコモンな疾患であるかぜ診療を抗菌薬適正使用の観点から見直す「かぜ診療ブラッシュアップコース」を各地で開催し、参加者から好評をいただけてきました。今回は、この取り組みを日本全国で展開していくため、講義やグループワークを通じて、かぜ診療についての問題意識や解決方法を探ってもらうことを目的としています。各地で抗菌薬の適正使用をリーダーとなって進めていただける先生方、かぜ診療について問題意識をもっている先生方のご参加をお待ちしております。

日 程 ■ 2019年6月22日(土) 15:00 開演
(開場 14:30 終了 18:00)

会 場 ■ TKP神戸三宮カンファレンスセンター ホール5B

兵庫県神戸市中央区御幸通6-1-12 三宮ビル東館 5F

参加費
無料
(定員20名)

プログラム

- 講 義 ● 「かぜ診療ブラッシュアップのための知識とスキル」
グループワーク ● 「かぜ診療をもっとよくしよう」

【講師】

山本 舜悟 京都市立病院 感染症科 副部長

具 芳明 国立国際医療研究センター病院 AMR臨床リファレンスセンター 情報・教育支援室長

藤友 結実子 国立国際医療研究センター病院 AMR臨床リファレンスセンター 主任研究員

セミナーFAX参加申込書 ▼ 締め切り 2019年6月19日

FAX:03-6228-0420

担当者名	参加人数	名	部署名	職種	氏名(フリガナ)
医療機関名					
住所					
TEL	FAX				

当日に連絡がつく
電話・メールアドレス

▶参加登録はこちらからもアクセスできます
<http://urx.nu/ZNp9>

